

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定 実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①基礎学力の定着、思考力・判断力・表現力及び課題発見解決力の育成を目指した授業改善に取り組む。 ②生徒が主体となって課題を解決し、自律自走する学校行事運営や生徒会活動を目指す。	①生徒の学習習慣の定着及び基礎学力の向上を図る。組織的な授業改善の充実を図り、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ②各行事や生徒会活動について、生徒がより計画性をもって組織的に企画運営していけるよう、要所を押さえた支援を行う。	①学年、教科で連携し、授業や課題、実力アップ講習を通して、基礎学力を向上させる。互いの授業見学等を行うことにより、思考力・判断力・表現力の育成を達成できる授業づくりを追求する。 ②特に各行事の企画運営に向けたスケジュールリングを向けたスケジューリングを通して、自律自走を促していく。	①生徒による授業評価の各設問の回答の平均値が4段階で 3.25 を上回った割合が80%以上になったか。 ②学校評価アンケートの学校行事等において「主体的に取り組むことができたか」の項目で、肯定評価80%以上を達成できたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①学校行事や部活動の運営を通し、他者と協働して物事に取り組む態度の涵養を図る。 ②教育相談体制の一層の充実を図り、生徒一人ひとりの心身の成長を支援する。	①学校行事では各クラスの企画等を通して多くの生徒が他者と協働して取り組みながら成長する機会が得られるよう枠組み等を工夫する。部活動では、引き続き、要所を押さえた指導を行う。 ②職員、SC、SSW が一体となって支援にあたることができるよう組織的な相談体制を整える。	①必要に応じて LHR 計画を更新しながら、可能な限り LHR の時間を有効に活用できるように配慮する。部活動では、引き続き顧問を中心に緩急をつけた指導を行う。 ②SC、SSW の勤務日を極力同日にし、教育相談コーディネーター等とより連携をとれる体制を整える。また、SC、SSW が対応可能な事案を職員へ周知し、積極的な活用を目指す。	①学校評価アンケート等の学校行事・部活動の取組状況や満足度で肯定評価80%以上を達成できたか。 ②学校評価アンケートの教育相談等に関する項目について、肯定評価 80%以上を達成できたか。また、SC、SSW と効果的に連携することができたか。					
3	進路指導・支援	①高い進路希望実現に向け、生徒がグローバルな視点を持って将来を設計できるよう、また、自らのキャリア発	①生徒の高い進路希望の実現を目指すため、進路指導の充実を図る。	①3年間を見通した「進路指導プログラム」に確実に取り組む。また、大学入試の変化について情報を収集し、生徒、保護者、教職員	①生徒及び保護者の面談、出願指導検討会及び進路説明会が有効であったか。大学入学共通テスト得点状況は良好であったか。難関国					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		達を意識できるよう、 3年間を見通した進路 指導の充実を図る。 ②「科学と文化Ⅰ・ Ⅱ」における探究活動 と、ディベート活動を 軸としたグローバル教 育を、カリキュラムマ ネジメントの中核に据 え、次代を担う人材に 必要となる資質・能力 の育成を目指す。	②「科学と文化Ⅰ」と 「科学と文化Ⅱ」の“学 びの繋がり”の強化をと おして探究の深化を図る とともに、研究倫理教育 の充実に取り組む。ま た、校内外のグローバル 研修や英語によるディベ ート大会等の充実を図 る。	への周知を図る。 ②「科学と文化Ⅰ」の更な る充実を図るとともに、 「科学と文化Ⅱ」における “探究活動のルール”を見 直す。また、校内外のグロ ーバル研修や英語によるデ ィベート大会は旅行者や 国際委員と協力して、内容 の充実を図る。	立大学合格者数 22 名以 上、国公立大学合格 45％ 以上を達成できたか。 ②探究活動や課題研究の各 種外部大会等に参加する生 徒数が 10 名を超えている か。また、校内外のグロー バル研修の振り返りにおい て、満足度が高い感想や回 答が得られるか。					
4	地域等との協働	①生徒が活動する様子 が伝わる広報活動を目 指し、本校の魅力や特 色を積極的に発信する 広報活動を展開する。 ②保護者や地域、大学 等外部機関、行政機関 等との協働連携を促進 し、本校教育力の向上 を図る。	①本校の教育活動につい て、中学生や保護者、地 域の方に向けて、より見 やすくかつ迅速な情報発 信に取り組む。 ②保護者や地域、大学等 外部機関、行政機関等と の協働連携を促進し、教 育活動の充実を図る。	①生徒の活動の様子をより 詳しくわかるように説明文 だけでなく写真も掲載し、 期間を空けないように発信 する。また、学校説明会等 の予定も早めに告知する。 ②授業や学校行事、キャリ アアップ講座等におい て、行政機関、大学研究 機関、地域、民間等と連 携した教育活動の充実を 図る。	①学校説明会等における アンケートで、ホームペー ジから適切に情報を伝えて いるという肯定評価 90％ 以上を達成できたか。 ②授業や学校行事、キャリ アアップ講座等における講 師や地域の活用状況や、学 校評価アンケートの肯定評 価が 80％以上を達成でき たか。					
5	学校管理 学校運営	①教育環境の変化に迅 速に対応し、前向きに 課題に取り組む雰囲気 を醸成し、魅力と活気 ある学校づくりに取り 組む。 ②各種会議を計画的に 実施し、効率的な学校 運営に取り組むととも に、安全安心な教育環 境を整備する。	①定期的な研修会等によ り、職員間の信頼関係を 高め、課題に前向きに取 り組む魅力と活気ある学 校づくりに取り組む。 ②ICT の利活用を推進す るとともに、円滑で効率 的な学校運営に取り組 み、安全安心な教育環境 を図る。	①職員同士が尊重し合 える職場を目指すために、 人権研修会および不祥事防 止研修会を実施する。職員 間の情報共有を積極的に推 進する。 ②ICT の利活用を推進し、 校務の効率化を図るととも に、防災研修会など地域と 連携した防災対策を進め る。	①職員人権研修会の取組状 況等による検証はできてい るか。職員間の報告・連 絡・相談を励行している か。 ②ICT の利活用により、業 務の効率化を図れたか。防 災訓練の実施状況等による 検証はできているか。					